

平成25年度「グッジョブおだわら」における結果と取組内容

《上位賞》

実施事業名	取組の内容	主な効果など	課名	審査結果
足柄駅自転車駐車場の民活による整備について	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車が乱雑に止められるなど利便性が低下していた足柄駅周辺の無料自転車駐車場（市設置）の整備を、民間企業に働きかけ、より利便性の高い有料自転車駐車場として整備した。整備費用や管理運営費用を削減するとともに、周辺の交通環境の改善や住民のよりよい生活環境の提供を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車駐車場の乱雑な状況が、有料化により解消され、場外にはみ出す自転車がなくなった。 ・平成25年8月に市と地権者との土地賃貸借契約を解除し、平成25年度の賃借料（1,025千円）及び来年度以降の賃借料（1,581千円／年）を削減した。 ・放置禁止区域の巡回に専念できるようになった。 ・維持管理の作業がなくなった。 	地域安全課	グッジョブ大賞
アクティブシニア応援ポイント事業の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・60歳以上の市民が、市指定の介護保険施設等でボランティア活動を行うと、ポイントがつき、ポイントに応じた商品に交換することにより、高齢者の社会参加や生きがいづくりを応援する事業を開始した。受入施設との調整、事業周知、事業の説明会を実施したことにより、事業開始から4か月で100人を超える参加者の登録があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険施設など39施設中、38の施設から受入施設としての協力を得ることができた。 ・生きがいづくりや社会参加支援を目的として対象を60歳以上としたほか、ポイント交換を地場産品とした。また、事業のマスコットキャラクターを作成したことで、本市独自の取組として各マスコミ等に掲載され、広告費をかけず事業の周知ができた。 ・開始から4か月で120人が参加登録 	高齢福祉課	金賞

平成25年度「グッジョブおだわら」における結果と取組内容

実施事業名	取組の内容	主な効果など	課名	審査結果
市税収入未済額の削減に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> 市歳入の根幹を成す市税の収入未済額を削減するため、組織体制の強化（市税等納付促進センター開設による分業体制の確立、滞納整理業務の進行管理（マネジメント）の徹底）や不動産公売に係る取組等を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 市税滞納繰越分の収納率の向上 平成26年2月末現在25.57%、前年度同月比7.32ポイント増 平成26年3月末における見込みが27.48%、平成3年度以来の25%超となる見込み 市税滞納繰越分の収入額の増 平成26年2月末現在579,312千円、平成26年3月末における見込みが622,430千円で、過去最高額となる見込み 不動産の公売・落札（1件） 市税収入未済額の削減 平成21・22年度の各年度末には約25億円であったが、平成25年度末には20億円程度まで削減を図れる見込み 	市税総務課	銀賞
小田原水れもんバル	<ul style="list-style-type: none"> 小田原ならではの「バル」ということで、焼酎の水割りに地場産品である片浦レモンを絞り入れたご当地ドリンク「水レモン」をキーに、小田原の農産地品の魅力を紹介し、B級グルメではなく、ご当地ドリンクとして名を揚げ話題を作り、小田原の宣伝、集客を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> バルチケット販売冊数は約1,500冊に達し、市内外から約2,300人が参加した。 約45%が市外からの参加者。小田原の魅力、地場産品である片浦産レモンをPRできた。 多数の参加店舗で新規のお客が増えたとの意見があった。 ご当地ドリンクの存在を広くPRすることができた。 	産業政策課	銅賞

平成25年度「グッジョブおだわら」における結果と取組内容

実施事業名	取組の内容	主な効果など	課名	審査結果
第3回松永記念館交流美術展における民間の広報戦略の活用	<ul style="list-style-type: none"> 第3回松永記念館交流美術展において箱根ラリック美術館と連携し広報活動を展開。ツアーの誘致に成功した。また、JAFとの提携による会員広報誌での周知など、経費をかけず広く情報発信を行った。民間の広報手法を学ぶとともに単独では実現し得ない効果を上げることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 3つの団体ツアーが実現。会期中計16件421人の団体来館者があったほか、会期中の総入館者数は昨年度同期と比べて34%増加した。 大手旅行会社や市外・県外の方にも広く松永記念館をPRすることができた。 会員優待施設として、JAF会報誌に施設紹介を掲載。特別な経費をかけず広く情報発信を行えた。 民間の広報戦略と展開の方法を学ぶことができた。 	生涯学習課	銅賞
国民健康保険料確保緊急対策事業	<ul style="list-style-type: none"> 国民健康保険料の賦課方式の変更等から、納入通知書が平成25年から7月に送付されることになったことを受け、出納閉鎖期間を含めた6月までの3か月を緊急対策期間として位置づけ、即時収入化できるものにターゲットに絞り、保険料の確保や収納率のアップを図ることとした。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成24年度現年度分収納率は86.52%（前年度比1.05%増） 滞納処分の差押件数は33件（前年度比26件増） 換価件数は29件（同25件増） 換価金額は4,369,302円（同3,778,845円増） 徴収嘱託員による徴收件数は6,666件（前年度比3,383件増）／徴収金額は70,279,610円（同13,960,860円増） 平成24年度の居所不明者調査による調定減は17,719,700円（前年度比15,629,000円増） 	保険課	身近な改善 大賞
一次審査へ選抜された取組数が最も多い所属（選抜された取組数：5件）			農政課	グッチーム賞

平成25年度「グッジョブおだわら」における結果と取組内容

《奨励賞：チャレンジ部門》

実施事業名	取組の内容	主な効果など	課名	審査結果
地域ブランド確立における郵便局との協力	<ul style="list-style-type: none"> 下中地区で栽培されている下中たまねぎは、様々な取組によりリピーターはいるものの、顧客の新規開拓、販路拡大が課題であった。そこで、民間である郵便局と若手農家団体がタイアップし、たまねぎを地域カタログで販売することで、広報力が向上しただけでなく、消費者・生産者・郵便局の3者間でのメリットも確立した。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年目に300箱以上の注文があり、若手農家のやる気が向上した。 販売促進のため、郵便局窓口職員に対し試食を行ったため、自信を持ってお勧めしてもらうことができた。 郵便局の地域カタログを活用したため、広報に費用をかけず、下中玉ねぎに対する農家のこだわりをPRすることができた。 即売会等から、次につなげる販売方法が確立した。 	農政課	奨励賞
農産物ブランド化における知的財産権制度の活用	<ul style="list-style-type: none"> 関東3大梅林にも数えられる「曾我梅林」を中心に栽培される、小田原オリジナル品種の「十郎梅」の更なるブランド力向上を図るため、オリジナルマークを作成し、知的財産権制度の「ブランド（商標権）」を取得した。商標権の持つ様々な機能を活用し、生産者・流通業者と協力することで十郎梅を市内外へPRした。 	<ul style="list-style-type: none"> 市外の製品購入者に対してもPRが可能になった。 商工会議所の制度を活用し、弁理士費用50万円以上を削減した。 協議会独自のホームページで承認を受けた製品をPRし、承認を受けた側のメリットが増えた。市ホームページのみに頼らない運営方法が確立された。 承認した商品を紹介する「販売店マップ」を作成し、小田原市内への回遊性を高めた。 	農政課	奨励賞

平成25年度「グッドジョブおだわら」における結果と取組内容

実施事業名	取組の内容	主な効果など	課名	審査結果
タブレット端末を使用した会議の開催	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末を利用したペーパーレス会議システムを利用し、年間約240回ある会議の用紙代等の経費削減を実現した。また、用紙を出さないことで環境にも優しい会議を実現した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・初期投資費用の負担はかかったが、導入後は一切用紙やコピーを使用しなくなり、資料作成やコピーに要する時間の削減ができた等、経費面及び業務効率の面で効果があった。 ・情報セキュリティの面でも、審査会終了時にデータを消去するため、安全に管理することが可能 	介護保険課	奨励賞
町田小学校屋内運動場の早期再建	<ul style="list-style-type: none"> ・不審火により焼失した屋内運動場の火災復旧として、早期再建を図ることとした。設計者及び施工者の一括選定方式を採用し、公募型プロポーザルを実施した結果、通常2年要する工事を1年に短縮し、平成25年度内に完成することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・設計施工一括方式を採用し、合理的な設計で、総合的に経費の軽減、工期の短縮を行うことができた。 ・屋内運動場建設経費は公立学校施設整備費負担金（補助率：国1/2）を活用することができた。 ・プロポーザルの要求水準に、PTAからの陳述書や話し合いの結果を含めることで、地域や学校等の要望を可能な限り反映させることができた。 ・工事金額の約半分の工事に市内の業者が加担する提案であり、市内業者にも配慮することができた。 	教育総務課	奨励賞
中心市街地活性化基本計画の認定	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の中心市街地の活性化を一体的に推進することを目的として「小田原市中心市街地活性化基本計画」を策定し、内閣総理大臣にその計画が認定された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・計画が内閣総理大臣に認定されたことで、国から受けられる支援メニューが広がった。 ・社会資本整備総合交付金を活用する事業のうち、計画の認定が前提である事業について、国の補助給付により財源の確保ができた。 ・計画に位置付けることで、一体的な事業推進が可能になる。 	産業政策課	奨励賞

平成25年度「グッジョブおだわら」における結果と取組内容

《奨励賞：身近な改善部門》

実施事業名	取組の内容	主な効果など	課名	審査結果
都市計画情報検索システムの拡充	<ul style="list-style-type: none"> 市民向けの都市計画情報提供窓口パソコン等については導入済みのシステムを廃止し、市ホームページの Navi-0 を導入した。また情報の更新について他部局のソフトウェアライセンスを共有し職員が行うことで、経費の節減と情報更新の迅速化を図った。削減した経費で窓口のパソコンを追加し市民の利便性の向上に努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業見直しの結果、総額 9,023,320 円の削減につながった。 窓口パソコンの追加設置により混雑が緩和された。 自宅等での Navi-0 の活用の促進につながった。 都市計画決定・変更の際、変更内容を迅速に、費用がかからずに市民に提供できるようになった。 	都市計画課	奨励賞
郵送による口座振替登録の受付について	<ul style="list-style-type: none"> 従前、金融機関等の窓口のみで受け付けていた市税等の口座振替申込みについて、郵送による申込みを可能とし、体が不自由な方や営業時間内に金融機関へ出向くことのできない方等も、口座振替の申込みが容易に行える環境を整備した。本取組により、口座振替利用者の増加を図り、納期内納付率や市税等収納率の向上に資する。 	<ul style="list-style-type: none"> 口座振替利用者の増加により、納期内納付率の向上はもとより、市税等収納率の向上に資する。 はがきタイプの口座振替申込用紙の受付率（受付件数/発送件数） <ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年 11 月末現在 <ul style="list-style-type: none"> 市県民税 4.88% 固定資産税・都市計画税 5.30% 国民健康保険料 5.98% 口座振替新規申込件数 <ul style="list-style-type: none"> 平成 25 年 11 月末現在 <ul style="list-style-type: none"> 市税 4,192 件 <ul style="list-style-type: none"> (平成 24 年度 (年間) 2,724 件) 国民健康保険料 1,516 件 <ul style="list-style-type: none"> (平成 24 年度 (年間) 1,419 件) 	市税総務課 保険課	奨励賞

平成25年度「グッジョブおだわら」における結果と取組内容

実施事業名	取組の内容	主な効果など	課名	審査結果
エクセルの機能を活用した業務量の縮減	<ul style="list-style-type: none"> 例月の非自発的失業者に係る負担区分判定作業において、毎月 6,000 人ほどの中から、軽減対象者・国保世帯員等を目で見探し、世帯所得の計算を行い判定していたが、前月と所得・資格期間等に変更が無い場合の判定結果は前月と同様になることから、エクセルの関数機能を活用し業務の大幅な削減ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> サービスを低下させることなく、確実に業務を行うことができた。 毎月 173,184 円、年間 2,078,208 円の削減 毎月 44 時間の業務時間の削減 業務の精度が向上 	保険課	奨励賞
フロッピー使わないで個人情報保護	<ul style="list-style-type: none"> 医療費助成事業の支出事務ではフロッピーディスク（以下、「FD」）を用いて口座振替を行っていたが、新たな表計算ソフト等を用いた簡易な仕組みを作成し、財務会計システムの債権者集合として支出するよう改めた。これにより、FD 紛失による個人情報流出の懸念がなくなり、また、生産中止となった FD 機器類の故障による不測の事態に備えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報紛失のリスクがなくなった。 財務会計システムを利用することで、伝票決裁後にエラーが見つかることなくなったため、従来要していた作業を削減できた。 	子育て政策課	奨励賞
認知症予防事業の見直し	<ul style="list-style-type: none"> 認知症予防事業参加者に、教室参加後も外部との接点を持ち続けていただくため、学校運営をヒントに「グループワークの導入」や「卒業アルバムの配付」など教室プログラムの見直しを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加者アンケートの結果で、「脳と体の若返り塾の感想」において、88 名中 78 名の方から高評価 同アンケートにおける「教室後の生活の変化」で、「あった」が 65 名（76%） アンケート結果や参加者の話から、「外部との接点のきっかけ作り」に大いに効果があった。 	高齢福祉課	奨励賞